平成16年(2004)年７月１日
第11号

早稲田大学

武蔵野稲門会報

発行　武蔵野稲門会
武蔵野吉祥寺本町1-20-1
永谷シティプラザ806
㈲パーシモン内
小美濃　隆
電話0422(21)9961

会の活性化にむけて

会長　小美濃　隆
(昭31・法)

本年４月から会長を拝命。稲門会の役割は校友の皆様方の“親睦をはかること・大学の発展に協力・多少なりとも地域に貢献”することと心得ております。一番大切な親睦を深める為にはどうしたらいいのかを近隣稲門会の諸先輩方にお尋ねしたところ皆さん、同好会活動が基本であるとおっしゃいます。今年はこれに力を入れていきたいと存じます。皆様方のお知恵を拝借させていただきたいと存じます。趣味はハイキング・ゴルフ・尺八・指圧。

平成16年度武蔵野稲門会・総会とミニ講演会のお知らせ

名将　広岡達朗氏来る！　「指導者の役割とはいったい何か」

プロフィール
1932年広島県生れ。呉三津田高。早稲田大学。１年からレギュラー。六大学を代表する名遊撃手。1955年巨人に入団。新人王。広島コーチを経て監督としてヤクルト、西武を日本一に導く。1992年野球殿堂入り。

日時　平成16年９月18日（土）
午後５時より開会
場所　吉祥寺東急イン３階
総会後懇親会
会費　10,000円

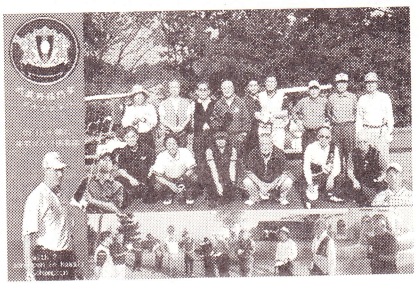
同好会への御案内

みなさまの御入会をお待ちしています。

(1) **ゴルフ同好会**－渡辺吉章－
０４２２（２０）０２０４
初対面の人ともプレーで親しくなり、１万５千歩は歩くので健康管理と若さを保つゴルフに参加しませんか。

(2) **囲碁**－寺田昌弘－
０３（３９２８）８７１０
碁の本を読み始めたばかりの人から日本棋院六段の実力者まで月２回のペースで

(3) **早稲田を応援する会**
－庄司駿一－
０４２２（５４）３８５８
野球早慶戦やラグビー早明戦を神宮球場や国立競技場で観戦応援しましょう。ＯＢも居ります。



H16.11.8 第11回ゴルフ大会

校友の皆さま!!

平成16年度武蔵野稲門会費2,000円を下記郵便局振替口座へお振込下さい。
加入者名：武蔵野稲門会　口座番号：00151－8－190961

広告のお願い

次回から会報で広告を扱います。稲門会の会報を是非御利用下さい。
有志の方は事務局（0422－21－9961）までお申し出下さい。

会員の声

わたしが旅に出る理由

杉崎完夫（昭27・商）

2003年９月11日南米アルゼンチン
イグアスの滝にて

四季折々の自然に接し歴史、文化風土を求め在りし時代を想像する。

そこに又出会いありで人生の喜びを付加してくれる旅行は、小生にとっては楽しいものである。行程が無事終った時は充実感に満足し次のスケジュールを考えてしまう。小生も75才となった昨今、どうしても家に引きこもり勝ちであるが旅を考える事により体力の調整が必要となってくるので旅は一つの健康法ではないかと勝手に思っている。

昨年は南米、カナダと恒例の富士登山や奥多摩方面のトレッキング、今年はアメリカ南部、中欧五ヶ国と奥多摩、富士山を考えている。

ご希望の方があれば旅の話しなどを交換したいと思う。

運河巡りのおもしろさ

轟　常弥（昭30・法）

ヨーロッパには驚くほどの大小さまざまな運河が広がり、北海のオランダから東は黒海に通じ、南は地中海に注ぐ。オランダ・ベルギーの運河巡りを体験。アムステルダム港より乗船、幾多の水門、美しい水と花の田園風景、行交う各国の船々を眺めながらの９日間の船旅を満喫。このオランダ籍の船にはラウンジ、バー、サウナ、ジャグジーがあり乗客定員146名、全長110m。男女船員27名は何んと９ヶ国籍。オランダ語、ドイツ語、英語が混じる。幸い好天に恵まれ気温も東京並み。世界一の巨大港ロッテルダム、水の都ブルージェ、キンデルダイクの風車群、アムステルダムの膨大な花公園、寄港各地の美術館等、すべてが驚異の別世界であった。

稲碁会（イナゴ会）

高木栄治郎（昭32・理）

休眠状態だった囲碁部を何とかしようと有志が、立ち上がった。お蔭さまで、昨年８月に新生イナゴ会発足。このユーモラスな名付け親は、三枝　武さん。総勢18名。既に03年度15回の部会と忘年会が、開かれて、毎回10名を超える盛況である。

当会は、日本棋院六段２名のほか多数の有段者から15級の初心者までバラエティに富んでいる。近隣の新宿や杉並の校友も、賛助会員として遠くから参加されているし、市内の校友のつれあいも歓迎している。

場所は、三鷹駅北口徒歩数分の中央コミセン中町集会所で、月２回と、火曜か金曜の何れか、時間は13時半～17時半と決まってますが、場所取りの都合で、何周目かは２ヶ月前に決まります。興味のある方は、表記事務局までお問い合わせください。

当会の特長は、次のとおりです。

1）囲碁は、右脳左脳の両方を鍛えるのに絶好のゲームです。勿論、考えずに碁石を並べていったり、置いた石を剥がして打ち直すのは、カラオケと同じで、ボケ防止にならないので絶対禁止となっています。

2）初心者への指導は、有段者全員の義務として指導の回数も記録し、また、初心者からは指導の分かりやすさをフィードバックしてもらう仕組みで、指導技術向上に努める。熱心な方は、もう25回以上の指導碁を経験されています。

3）手合い方式は、日本棋院の投稿論文・碁会所や著名な町の碁会所の方式を研究した、当会独自のルールを作成実施しており、日本で唯一の優れものと自負しております。資料ご希望の稲門会の方は、お申し出ください。

とまれ、興味ある方は、いちど覗きに来られては、いかが！
Welcome！

0422(31)1100 Fax Tel

初老のクラス会

唐澤かづ子（昭34・政）

４月にクラス会があった。今回初めて在学中の写真を持ち寄ることになった。昭和34年卒業の、わずか40数名の級友の２割近くが鬼籍に入っていることに、皆ショックを受けた。ゲーテ、シラー、ヘッセや多くのドイツ音楽の巨匠、哲学者に憧れて入学した詩人気取りの若者や、演劇界での活躍を夢見ていた意気軒昂な乙女などもすっかり落ち付いて、世間並みの初老の姿になっていた。せめて元気なうちに亡き級友の写真を提えて、ドイツでクラス会をしようと、ささやかな夢を語りあった。

クラシック音楽を通して理解した建築家としての私の生き方

山本富士雄（昭34・理）

建築は凍れる音楽であると言ったのは、ゲーテであると言われています。第二次世界大戦の終わった昭和20年、ボーイソプラノとして聖歌隊でミサを歌いました。以来60年間テノールとして歌い続けています。大学

在学中は、早混で歌い卒業後四季の会と建築学会男声合唱団で歌い続けています。最近はオペラ歌手と一緒にチャリティコンサートで歌っています。ウィーンのニューイヤーコンサートで合唱団員として家族全員で歌いました。歌を歌うことは私の生活の一部になっています。

石油に浮かぶ国 クウェートの思い出

庄司駿一（昭36・政）

1974年７月から1979年７月まで丸５年間クウェートで生活しました。中東石油産油諸国がオイルブームでにわかに大金持ちになり、政情も安定していた頃でした。イラン・イラク戦争・サダムフセインがクウェートに侵攻した湾岸戦争の前で、誇り高きアラブの人達は、意気軒昂、自信にあふれ、輝いていた時代でした。

ビジネスの交渉事でも、アラブのハッタリの効いた交渉術に、気の小さい“ワレラ”は一喜一憂し、自棄酒（？）を飲んだ事もたびたびありました。

1976年の８月の猛暑の頃、束の間の休暇をとって、家族とヨーロッパ旅行に出かけ、クウェートへの帰途パリで高価な酒（？）を三本買いクウェート空港に帰着した時の事です。禁を犯して持ち込んだこと故、いささか緊張し、税関のカウンター前に、家族５人整列して、手提げバッグを提示しました。運が良ければ中味をチェックされずにＯＫしてくれるか、中を覗くだけで、見過ごしてくれる事を経験上承知していたので、それにかけたのです。ところがこの日は違いました。若い税関吏に大事な三本の酒瓶を、取りあげられ、カウンターの上に並べられてしまいました。

公衆の目に晒されたら、先ず没収はまぬがれず、ペナルティーを覚悟しました。整列させた当時日本人学校４年生の娘に、「お父さん悪い事をしてはいけないと云ったでしょう」と云われ乍ら、ひたすら若い税関吏に頭を下げていたら、年嵩の同僚があらわれ、ちらちら整列組を見やり乍ら、若い方に耳打ちしております。若い税関吏が突然、今回は目をつぶるが、二度やったら、大変な事になるぞみたいな事を云われ、見のがしてくれたのです。家族や子供思いのアラブ人が、家族の前で、怒られているあわれな父親の姿に同情して（？）許してくれたものと今でもなつかしく思い出されます。家族・仲間・子供を大切にする誇り高きアラブの人達が、安心してくらせる日が一日も早く訪れる事を祈っている昨今です。

老春の扉も遠ざかって行く

五所愛子（昭37・文）

人生には、折り節の扉がいくつかある。

そうだ、早稲田へ入ろうと決心した。教えることに飽きてしまい、どうしていいか解らなくなっていた。仲間との飲み会にも、へきへきしていた。池辺良や佐田啓二の映画も、うっとおしくなって。

そうだ、早稲田へ行って、伴侶をさがそう。トコトコと都電で通うことがうれしかった。年寄りくさい若者らとグループを組み、第三の青春を味わった。半両ではあるが、伴侶も見つかって。

それにしても、早稲田の講義は充実していた。疲れているはずなのに、まじめに足の向くのが不思議だった。名だたる先生方が、個性ある語り口で、魅力があった。学生がどこにも大勢いて、活気にあふれていた。夜も手抜きをしない早稲田が好きになっていった。

60歳の扉は、重くて切なかった。もう役立たずになるのか、このまま年老いていくのか。一心のモヤは、濃くなるばかり。

でも、それが、同じ世代の人達と触れ合い、話しかける立場を得てからは、まさしく「老春」を味わうようになった。

週間のスケジュールも、しだいに定着し、今が一番好きなことがやれる時機なのかと、うれしく思っている。

85歳ぐらいまでのかたがたと、時には見学会や旅行や飲み会などもまじえて、学び続け、しゃべりたいだけしゃべり合って、毎日がバラ色である。

年取った人達はなどと敬遠していたはずなのに、触れ合い語り合うごとに、あの人、この人、一人ひとりがいとおしい。

いつまでもこうあり続けたいと願うけれど、老春の扉も日々遠ざかって行くことになる。

ゴルフ部

荒川悌二（昭37・政）

最近のゴルフ部会の活動を御報告致します。ゴルフコンペも回を重ねて、第十一回の開催となり、次の内容で行ないました。

日時　平成15年11月８日（土）
場所　美里ゴルフ倶楽部(埼玉)
参加人数　15名
競技方法　新ペリア方式
費用　プレー代＋食事代
　　各自精算
　　参加費２千円

天候にも恵まれ、晩秋の秩父連山を眺めながら、ゆったりとした気分で楽しくプレーすることが出来ました。コースは比較的フラットでしたが、乗用カート使用で楽にラウンド出来、疲

れを感じませんでした。好プレー、珍プレーを交えながら全員リタイヤすることなく、コンペを終了することが出来ました。

成績は次の通りです。

優勝　木村正人（Ｓ34政経卒）
50・51NET74.6

準優勝　荒川悌二（Ｓ37政経卒）
46・43NET74.6

第三位　渡辺吉章（Ｓ49理工卒）
41・42NET74.6

（なお同ネットの場合は年令順となります。）

優勝より第三位迄同ネットという激戦でしたが、見事木村さんが栄冠を勝ちとりました。

その後吉祥寺『カヤシマ』に於て、成績発表。表彰式を行ない、小美濃会長より各賞の授与を行ないました。引継き懇親会に移り、今日のプレーを話題の中心に大変盛り上りました。大先輩・若いＯＢと年令差はありますが、和気藹々と話がはずみ、楽しい時間を持つことが出来ました。ゴルフばかりでなく、仲間とのコミュニケーションを図るのには最適ですので、是非気楽に御参加下さい。

年二回、春と秋に開催しますので、お待ちしております。

稲門会の魅力

中村幸子（昭39・教）

平成５年９月に、此所吉祥寺東町に落ち着きました。転勤の心配も薄らぎ、夫も私も山梨出身ですので帰省のこと、また生活の便利を考え夢が叶いました。武蔵野稲門会には、学生時代よりの友人古賀あつ子様の紹介で入会。４年程前のことです。入会早々幹事欄に名がのり、今日に至っています。

稲門会の魅力は、久しぶりに会っても、初めての方とでもすぐ打ちとけ自然に親しめることでしょう。夫も囲碁の会に賛助会員として入れて頂き、共々お世話になっています。女性の会員の方々も皆多忙で、顔を合わせることは少ないですが、活躍ぶりを聞くのも楽しみです。

私も20年来の俳句をぼちぼち続けながらフォークダンス、又、シャンソン等で地域のサークルに参加している今日です。

神宮球場通い

川崎大八（昭42・理）

東京六大学野球を初めて観戦したのは、関根が居た法政が東大に負けた試合だから、50年以上神宮に通っている。子供の頃は親や野球好きの友人と一緒に行き、大学入学後は余程のことがない限り授業よりも神宮を優先することに決めていたので殆んどの試合を見たシーズンもあった。授業をサボル訳だから一人で観戦する事が多かった。直近の家族で応援した試合はノーヒットに抑えられた対立教戦だった。

ゴルフ同好会の部長

渡辺吉章（昭51・理）

このたびゴルフ同好会の部長を仰せつかりました。前から裏方をしていたのですが、役職が付いてしまいました。とはいっても、私はそもそも稲門会は親睦の会であってそれ以上でも以下でもないと思っていますので、こんな若造が大変僭越ですが、全会員平等であると考えております。時に早稲田の特色と言われる「長幼の序」は個人個人の方が良識として持っているはずのものだと思います。そんなわけでゴルフ同好会は平等主義をとります。ただただゴルフ好きの集まりということですね。よろしくお願いいたします。

裁判員制度法案の成立を機に想う

堀　裕一（昭55・法）

2004年５月21日、市民が重大な刑事事件の審理に参加して、裁判官と共に有罪・無罪や刑の重さを決める裁判員制度を創設する法案が成立しました。５年後、2009年４月からの実施が予定されています。でも５年なんてあっという間でしょう。

これはとても気になります。裁判員は選挙人名簿から無作為抽出で選ばれ、大人であれば誰でもその立場になる可能性があるのですから。「自分が他人に有罪を宣告するなんて…、場合によっては死刑、そんな責任はもてないよ、そもそも忙しいし…」と呟く自分がいます（もっとも弁護士は裁判員から除外されるのですが）。誤判も増えるんじゃないかという懸念もあります。

でも、翻って今の刑事裁判はうまくいっているのでしょうか？99.9%という有罪率（平成13年）の中「ほとんど絶望的」（平野龍一東大名誉教授）というのが刑法学者、弁護士から見た定説です。私も年に４～５件の当番弁護、国選弁護、私選弁護事件を受任し常に全力を尽くしていますが、何度もやりきれなさとある種の諦めを感じながら弁護活動を行っています。高い有罪率は、調書裁判（裁判官は公開の法廷で話されることよりも密室で取調官が作成した供述調書に信用性を与える傾向にある）、人質司法（罪を認めない限り、なかなか保釈されない。意に反して自白することも）、起訴便宜主義（検察官は全ての事件を起訴するのではなく、有罪確実と考える案件のみを起訴する。刑法犯で起訴されたのは平成14年で16.7%）、証拠の捜査側への偏在と検察官手持ち証拠を

開示させる確実な手だてがない等その原因は色々あります。

しかし私から見た最大の問題は、裁判官の目の前に来る事件は殆どが自白事件であり、有罪率が99.9%に及ぶ中、毎日毎日被告人が裁判官に対して「私がやりました。すみませんでした。」と頭を下げ、これを検察官と裁判官が叱責するということを何年何十年と繰り返しているうちに、裁判官が本来持っていた素朴な正義感とか、予断を持つことなく白紙で審理に臨むという公平な姿勢が次第次第に鈍磨して行き、いつの間にか目の前にいるのは犯罪者であり、自分こそが社会の安定秩序を守らなければならないのだという自意識過剰の権力者に陥って行くという点にあると想っています。ですから、捜査官に自白を強要されたと訴えたり、法廷で裁判官に本当のことを言えば分かってもらえると思っても、現実は全く被告人の叫びには耳を貸さないということが起こるのです。裁判官を職業としている者にとって、無罪判決を出すことはとても勇気の要ることであり、検察庁からの攻撃や場合によっては世俗的な意味での裁判所内部での出世（？）を諦めなければならないのです。裁判官も人の子、弱い存在です。しかしこれは異常なことです。

裁判員制度は、フレッシュな、裁判ずれしていない市民が自らの健全な常識に則って判断をし、判決をするものであり、その意味で死んだ刑事裁判を生き返らせる大きな契機となりうるものなのです。紆余曲折があり妥協の産物として、裁判官３名、市民６名が原則となりましたが、インパクトは凄く大きいと思います（弁護士会は裁判官１名、市民11名等を提案していました）。

５年後の実施に向けて裁判員として参加しやすい細やかな制度設計と環境整備がなされてゆきますし、様々なＰＲや広報が行われるでしょう。正直不安は一杯ですが、世の中のことはすべからく私たち自身が決めてゆくしかないのだろうと思います。裁判員に選ばれたらラッキーと喜んで、しかし襟を正して出かけて下さい。そしてその経験を周りの人に話をしてください。選挙の投票よりも遥かに自分がやった、自分も社会を支える一員なんだという充実感が得られると思います。

「長崎－早稲田大学1,250キロウォークリレー」について

中山　翠（昭59・文）

３年後の2007年に迎える早稲田大学創立125周年記念行事の一環として、「長崎－早稲田大学1,250キロウォークリレー」が計画されています。学祖大隈重信公の「人生125年論」にちなみ、その10倍（実際には、1,420キロ）の距離を、交友が２ヵ月半、１日約20キロをリレーしながら、日本の西半分の15都道府県（長崎、佐賀、福岡、山口、広島、岡山、兵庫、大阪、京都、滋賀、岐阜、長野、群馬、埼玉、東京）を横断するという、壮大なプロジェクトです。

行程は、大隈公ゆかりの地、長崎を２月26日（月）に出発して、長崎街道－山陽道－中山道を経由し、本庄、所沢、石神井など、大学キャンパスや付属高校所在地をつなぎ、５月12日（土）に大隈講堂にゴールインする予定です。季節も暖くなりはじめ、日を追って花々が咲き競い、関西地方では桜満開のすばらしい景観に出会うでしょう。

東京地区が担当するのは、５月11日（金）には所沢キャンパスから田無までの17キロ、５月12日（土）には田無から大隈講堂までの20キロです。つつじやその他の春の花、新緑が美しいことでしょう。

交友のみなさま、ぜひごいっしょに参加しましょう。

申しおくれましたが、私は、近代日本地図の租、伊能忠敬の測量開始200年を記念して、1999年から2001年元旦まで全国を一筆書きで歩いた「伊能ウォーク」（主催日本ウォーキング協会、伊能忠敬研究会、朝日新聞社）の本部隊員（隊長以下15名、うち女性３名）の一員として、計11,030キロ（地球一周の約1/4の長さ）を踏破しました。（「早稲田学報」1999年６月号参照）そのときの経験から、気候や雨対策、装備、長距離歩行の注意点など、微力ながらお役にたつこともあろうかと思います。

（ウォーキング歴）

「伊能ウォーク」本部隊員

（'99～01元旦　47都道府県11,030キロ踏破）

日本ウォーキング協会公認指導員

東京都ウォーキング協会役員

「平成の奥の細道」山口青邨班班長

（2003年から11年にわたって芭蕉の足跡をたどる）

WASEDA 125

記念事業募金

早稲田大学創立125周年記念事業募金にご協力お願いします。

お振込先

郵便局振替口座

加入者名 早稲田大学創立125周年記念事業募集口

口座番号 00140-0-177276

もしくは

加入番号 武蔵野稲門会

口座番号 00110-7-173626

平成16年度地区懇談会開催報告

６月20日西久保コミセン、26日吉祥寺南町コミセン、27日武蔵野市民会館の三会場において、地区懇談会(無料)が開催され、平成16年度の本会の新運営メンバーの紹介、年度総会のプログラム予告、同好会活動報告等が行われた。参加者の自己紹介、懇談を交え、会員の親睦を深めると共に、本会活動についての提案、意見交換を行った。

（参加者数　三地区計43名）

武蔵野稲門会平成15年度総会

９月６日午後５時より吉祥寺東急インで開催。来賓祝辞、活動、会計、監査報告後、次期小美濃隆会長就任、会則改正等が承認された。前進座代表中村梅之助氏の軽妙な語りや懇親会も盛会であった。

平成16年度活動計画（案）

３月　代議員会・幹事会
４月　稲門祭実行委員会(第１回)
５月　幹事会
６月　代議員会、地区懇談会
　　（三鷹、吉祥寺、武蔵境）
７月　稲門祭実行委員会(第２回)
９月　幹事会、総会、稲門祭実行委員会（第３回）
10月　稲門祭実行委員会、懇談会、稲門祭
12月　早明ラグビーＯＢ戦

〈出席者〉

〔大学〕

嵯峨座晴男理事、後藤由美子総長室副室長兼募金課長、〔武蔵野市役所〕土屋正忠市長、〔明治大学校友会〕春山勇明大校友会武蔵野支部長、〔早稲田大学校友会東京三多摩支部〕(昭島)福田武幹事長、(小金井)小杉山禮子会長、林茂勇副会長、(狛江)宮沢晃平会長、(立川)鴛海量良会長、(調布)川島義幸副会長、(西東京)平野豊副会長、櫻井衛事務局長、(東村山)小亀輝雄副会長、(八王子)山田司郎会長、(府中)小室修一副会長、(三鷹)松井実

〔会員〕

秋本　澄子	荒川　悌二	飯田　雄大	池田　俊雄	市川　毅	井上　俊雄	
沖島　祥介	小美濃　隆	角田　正三	勝倉　啓仁	勝沼　修二	上条　節夫	
川上　宏三	川崎　大八	菅　伸子	金　美徳	木村　正人	栗原　裕	
古賀あつ子	小坂　強	近藤　義輔	斉藤　博子	三枝　武	佐川　素子	
佐藤　篤士	佐藤　孝一	庄司　駿一	杉崎　完夫	千田　景三	高尾　直樹	
高木英治郎	高木　福男	高橋　清	橘　弘之	田中　久雄	谷内　隆衛	
辻　康夫	土屋　正忠	寺田　昌弘	轟　常弥	中島　末明	中村　誠	
中山　翠	平田　康啓	福原　弘	星田　正	前田　信昭	町田　顕	
三浦　佰	水野　学	溝垣善二郎	三野　寛	元田　利夫	山内　巖	
山下　倫一	山田　文昭	山中　健嗣	山本　茂夫	山本富士雄	米沢　卓志	
渡辺　茂	金沢　宏次	滝本　尚男	千田浩一郎	富永　澄男	神林　昇	
坂井　正美	金　護経	金田一成美	伊藤　幸子	吉村　功		

中村梅之助氏

編集後記

出来るだけ沢山の会員の声を載せるため、皆様にお願いしたところ、殆んどの人が快諾して下さいました。お礼を申し上げます。次回は読み易い会報にしたいと思います。宜しくお願いします。　川崎大八（昭42・理工）

ご意見募集

第12号以降の編集のため皆さまのお知恵をお寄せ下さい。

FAX　0422(21)9976